

大好きなみかんに思っていること

千葉県白井市立七次台小学校 六年 米山 日菜

私はみかんが大好きです。あまくてはじける感じが特に好きです。私の家も親戚も農家関係の人が居なく、みかんをつくる工程もわからなかったけれど学校で配られた食育副読本のおかげでみかんの仕組みやつくり方がわかりこんなふうにもかんがえていくんだな、と関心がわきさっそくみかんを買い食べてみました。改めてみかんを食べる前にじっくり見てみるとこの部分はこのような役割があったんだなーと感慨深くなりました。その一方で最近は農家の方々が減ってきていることも深刻な問題になってきています。その他にも農業の機械化や技術が上がってきていることも原因の一つだと言えます。私の考えは、確かに農業の機械化が進むと人の負担が減り良いとは思いますが人が行う仕事が機械によってどんどんうばわれていくというのもあんまり良くないんじゃないか、というのが私の考えです。農業に若者が少ないというのもとても深刻な問題だと私は考えます。ただ、果物をつくるにはたくさん手間がかかり大変だと思うのでみかんをつくる工程の収穫を機械で行う、などした方が良いのではないんじゃないかと思えます。食育副読本の12ページのみかんづくりの一年を見て収穫するまでにこんなに時間がかかるんだ、と少しびっくりしました。特に土の改良や粗摘果は初めて聞く言葉で土の改良という文字を見たとき改良!と少しおどろきました。みかんの歴史で昔は種が無いと子孫はん栄できないためきらわれた。という文章を見てこんなにおいしいの!とは思ったけれど昔は種が必要だったからしかたがないか、と思いました。今は、「つぎ木」という方法で育てられているそうです。こんなみかんがおいしいよ!という部分を読んだときそうなんだ、今度から意識して食べようと思えたので食育副読本を読んだ良かったなと思えました。